

梅花流詠讃歌「まごころに生きる」より

ほほえみひとつ

涙ひとつ

出逢いも別れも抱きしめて

生きてる今を愛して行こう

作詞作曲・南こうせつ

いつからでもどなたでも

❀ 仏さまの教えに出逢えます

❀ 亡き人のご供養にもなります

❀ 同じ道を歩む仲間ができます

梅花流詠讃歌は曹洞宗のご詠歌（仏讃歌）です
お問合せは、菩提寺または

曹洞宗宗務庁伝道部詠道課

03-3454-5416

<http://www.sotozen-net.or.jp/>



ばいかくん

心
故郷
まごころのふるさともつていらいますか



そこにはあなたの心を照らす
歌うたがあります

梅花流詠讃歌

— 仏さまからのメッセージ —

人は幸せを願って生きています。しかし、誰しも悩み、悲しみ、苦しみを体験しない人はいないでしょう。そうした時に心を支えてくれるのが、梅花流詠讃歌です。その歌詞には私たちを安らぎの世界へと導いてくださる仏さまの教え、想いが示されています。

「あなたも歌ってみませんか やすらぎの心を」



— ついでに楽しさ —

一人では出来ないことも、多くの人々と共に学び、励むことによつて楽しみになり、充実した人生を歩むことができます。現在全国でおよそ十三万五千人（平成二十九年現在）の方々が梅花流詠讃歌に親しんでいます。お唱えを通して仏さまの教えに目覚めた「感動」かんどう「喜び」よろこびが得られる仲間が集いが梅花講です。

「あなたも咲かせてみませんか 心の花を」



— いつくしみの詠讃歌 —

どんなに世の中が移り変わろうとも、仏さまの教え、真理は変わりません。詠讃歌をお唱えすることは、その教えを実践して行くことに他ならないのです。お唱えをした後の爽やかさ、喜びは何ものにも代えがたいものです。この「温もり」ぬくを少しでも多くの方と分かちあつて行くことが梅花流詠讃歌の願いです。

「分かち合ってみませんか ほほえみの心を」

